

宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年6月22日発行

— 2017.6.12～2017.6.18—第24週—

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	患者数	累計	宮 城 県 (含む仙台市)				
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼				第21週	第22週	第23週	第24週	
水痘		4 0.40	3 0.60		2 0.67	1 0.20	1 0.50	21 0.78	32 0.54	582					○
流行性耳下腺炎	1 0.20		1 0.20					7 0.26	9 0.15	266					
百日咳									0 0.00	0					
感染性胃腸炎	120 24.00	40 4.00	8 1.60	15 7.50	10 3.33	43 8.60	2 1.00	305 11.30	543 9.20	6,958	◎	◎	◎	◎	
手足口病	1 0.2	1 0.1	1 0.20		2 0.67			12 0.44	17 0.29	115					○
伝染性紅斑	6 1.2		2 0.40					2 0.07	10 0.17	77					
突発性発しん	3 0.60	8 0.80	2 0.40	1 0.50	2 0.67	2 0.40	1 0.50	13 0.48	32 0.54	763	○	○	○		レ
ヘルパンギーナ		1 0.1	2 0.40					2 0.07	5 0.08	30					
インフルエンザ		1 0.07				10 1.25	3 0.75	14 0.32	28 0.29	27,020	◎	◎	○	○	
咽頭結膜熱	1 0.20	26 2.60		1 0.50	3 1.00	3 0.60		67 2.48	101 1.71	753	○	◎	◎	◎	
流行性角結膜炎		1 0.33							1 0.08	56					
急性出血性結膜炎									0 0.00	0					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15 3.00	55 5.50	14 2.80	5 2.50	5 1.67	46 9.20		59 2.19	199 3.37	4,093	◎	◎	◎	◎	
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0					
無菌性髄膜炎	1 1.00								1 0.08	1					
マイコプラズマ肺炎				1 1.00				4 0.80	5 0.42	124					
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0					
RSウイルス感染症	3 0.60	2 0.20						12 0.44	17 0.29	276					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	50					
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	2	3		1		2							
	川崎病							3							
	不明発疹症	1	3					1							

◎: 流行の変化について、今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について、今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 2例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

登米管内 女性1名(第23週)
仙台管内 男性2名、女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌(O26)

石巻管内 男性1名
登米管内 男性1名、男児1名※、女性1名

4類感染症: レジオネラ症

仙台管内 男性1名

5類感染症: 後天性免疫不全症候群

仙台管内 男性1名
侵襲性肺炎球菌感染症
仙台管内 女性1名
梅毒
塩釜管内 女性1名
仙台管内 男性1名
※男児は6歳未満

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

腸管出血性大腸菌感染症患者より
登米管内のO26関連 第24週採取分 O26 3件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第21週採取分 (5.22～5.28)	第22週採取分 (5.29～6.4)	第23週採取分 (6.5～6.11)
インフルエンザウイルスB(ヒ7ゲリアケ系統)	1 件	0 件	0 件
RSウイルス	0 件	1 件	0 件
アデノウイルス	2 件	1 件	1 件
サイトメガロウイルス	1 件	2 件	0 件
パラインフルエンザウイルス(3型)	6 件	7 件	2 件

4. 今週のコメント

【腸管出血性大腸菌感染症】

県内では家族内感染を含め今週4例の報告があり、今年1月からの合計が12例となっています。主症状は腹痛や下痢ですが、小児や高齢者などの抵抗力が落ちている人が感染すると重症化することがあるため、注意が必要です。加熱不足の食肉からの感染のほか、患者との接触による感染も多く見られます。腸管出血性大腸菌は、75℃で1分以上の加熱で死滅しますので、食品では特に中心部まで十分に加熱をする必要があります。気温の高い季節は流行のシーズンですので、食品の取り扱いに注意するとともに、手洗い励行などの予防対策にも留意してください。

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

[感染性胃腸炎]
仙南管内で警報値を超えた
[A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
石巻管内で警報継続中

【咽頭結膜熱】

全国的に患者報告数の増加がみられ、県内でも、特に仙台、塩釜管内で増加傾向がみられます。今週の県内における定点当たりの患者報告数は、過去5年間で最も多くなっており、今後の動向に注意が必要です。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansan-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

